

教育研修講演のお知らせ

参加の受付

1. 教育研修講演を3～4ページの一覧表のとおり開催いたします。単位取得を希望される方は岡山コンベンションセンター2階の教育研修講演単位受付にてお申し込みください。学会参加登録がお済でない方は受講できません。
※単位取得不要の方はお申込み・受講は不要です。
※単位のお申込みはお席の確保を約束するものではありません。
またランチョンセミナー・モーニングセミナーにおいては単位のお申込みによりお弁当・軽食の確保を約束するものではありません。先着順となりますのでご了承ください。
2. 日本整形外科学会
本学会のプログラムの中で、一覧表に記載があるセッションは、日本整形外科学会教育研修単位が認定されています。

申込方法

巻頭に綴込みの受講申込書に必要事項をご記入のうえ、日本整形外科学会IC会員カードと受講料（1セッション 1,000円）を添えて、セッション開始の10分前までに教育研修講演単位受付にてお申し込みください。

※お申込みの際は必ず日本整形外科学会IC会員カードをご持参ください。

※受講料の払戻しはいたしませんのでご注意ください。

講演会場での手続き

セッション開始10分前から、セッション開始後10分までにIC会員カードを講演会場入口のカード読み取り機にかざして出席登録を行ってください。セッション開始後10分を過ぎた場合、受講申込みが完了していない場合、途中退場された場合には単位取得はできませんのでご注意ください。

未専門医の方へ

申込方法は、専門医の方と同様です。研修手帳をお持ちの方も単位取得には日本整形外科学会IC会員カードが必要となりますので、必ずご持参ください。ICカードで単位を取得された際は、「研修手帳」の押印欄にご自身で「ホームページ参照」と記載してください。

研修単位受講履歴の確認について

学会終了から1週間程度で日本整形外科学会ホームページ単位振替システムの取得単位確認画面で取得状況を確認できます。

受講された単位が規定単位数を超過した場合、もしくは同一時間帯での複数受講などがある場合は、手順に従って過誤データの訂正を行ってください。3カ月以内にご自身

で訂正されなかった場合には一定のルールに従って、機械的に削除されますのでご注意ください。

3. 一般社団法人 日本リウマチ学会

本学会への参加により、専門医単位（3単位）が認定されます（参加証またはそのコピーにより証明）。

4. 公益社団法人日本リハビリテーション医学会

本学会のプログラムの中で、一覧表の「日本リハビリテーション医学会」欄に○の表示があるセッションは、公益社団法人日本リハビリテーション医学会の単位付与対象（10単位）の生涯教育研修会として認定されています。

申込方法

巻頭に綴込みの受講申込書に必要事項をご記入のうえ、受講料（1セッション 1,000円）を添えてお申し込みいただき、「参加証明書」をお受取りください。

※参加証明書は必要事項をご記入の上保管いただき、ご自身で学会へ提出してください。

5. 一般社団法人日本手外科学会

本学会のプログラムの中で、一覧表の「日本手外科学会」欄に認定番号の表示があるセッションは、一般社団法人日本手外科学会の教育研修講演として単位が認められています。

申込方法

巻頭に綴込みの受講申込書に必要事項をご記入のうえ、受講料（1セッション 1,000円）を添えてお申し込みいただき、「教育研修会受講証明書」をお受取りください（1単位）。

※受講証明書はご自身で学会へ提出してください。

講演会場での手続き

セッション終了10分後までに会場前に備え付けの回収箱に受講証明書控えをご提出ください。

教育研修講演一覧

(日本整形外科学会・日本リハビリテーション医学会・日本手外科学会)

11月9日(金)

セッション名 (会場)	時間	演題名・演者名	日整会			日本 リハビリ テーション 医学会	日本 手外科 学会
			単位 種別	必須 分野	認定番号 18-2145		
スポンサード シンポジウム (第1会場)	8:30 ~ 10:30	早期 OA への筋力の影響 大森 豪 (新潟医療福祉大学健康スポーツ学科)	N R *2単位	1, 12	001		
		半月板からみた早期 OA の予防と進行抑制 古松 毅之 (岡山大学病院整形外科)					
		滑膜病変と早期 OA 福井 尚志 (東京大学大学院総合文化研究科 / 相模原病院臨床研究センター)					
教育研修講演 1 (第2会場)	8:30 ~ 9:30	成人期扁平足の病態と治療 update 仁木 久照 (聖マリアンナ医科大学整形外科学講座)	N Re	12, 13	002		
教育研修講演 2 (第3会場)	11:20 ~ 12:20	関節外科手術における周術期感染予防対策 立岩 俊之 (東京医科大学整形外科学分野)	N	6	003		
ランチョンセミナー 1 (第1会場)	12:40 ~ 13:40	膝・股・肩関節外科手術における関節周囲多剤カクテル注射による術後疼痛コントロール 塚田 幸行 (北水会記念病院整形外科)	N	8, 9	004		
ランチョンセミナー 2 (第2会場)		高齢 RA 患者に対する T 細胞選択的共刺激調節剤 アパタセプトの選択について 金子 敦史 (名古屋医療センター 整形外科・リウマチ科)	N R	1, 6	005		
ランチョンセミナー 3 (第4会場)		関節リウマチにおける骨粗鬆症マネジメント 田中 栄 (東東京大学大学院医学系研究科整形外科学)	N R	4, 6	006		
ランチョンセミナー 4 (第5会場)		アルミナセラミック製人工距骨を応用した後足部再建術 田中 康仁 (奈良県立医科大学整形外科)	N R	6, 12	007		
ランチョンセミナー 5 (第6会場)		変形性股関節症の病態と治療 中島 康晴 (九州大学大学院整形外科)	N Re	11, 13	008		
特別講演 1 (第1会場)	13:50 ~ 14:50	優れた臨床成績獲得のための人工膝関節置換術のコツとポイント 勝呂 徹 (東邦大学名誉教授 / 日本人工関節研究所)	N R	6, 12	009		
招待講演 1 (第1会場)	15:00 ~ 16:00	The Care of the Rheumatoid Hand and Wrist, Controversies and Outcomes Kevin Chi Kuang Chung (University of Michigan Medical School, USA)	N R	6, 10	010	○	認定番号: 18- 089 -01
文化講演 (第1会場)	16:50 ~ 17:50	人生の教科書 古賀 稔彦 (柔道家 / 古賀塾塾長)	N S	14-5	011		

11月10日(土)

セッション名 (会場)	時間	演題名・演者名	日整会			日本 リハビリ テーション 医学会	日本 手外科 学会
			単位 種別	必須 分野	認定番号 18-2145		
モーニングセミナー (第2会場)	7:20 ~ 8:20	THA のストレスシールドリングに対する骨粗鬆薬の 効果 稲葉 裕 (横浜市立大学医学部整形外科)	N R	4, 11	012		
教育研修講演 3 (第2会場)	8:30 ~ 9:30	膝前十字靭帯 (ACL) 再建術は膝変形性関節症 (OA) を予防できるか? 黒田 良祐 (神戸大学大学院整形外科)	N S	2, 12	013		
教育研修講演 5 (第3会場)	10:10 ~ 11:10	脊椎関節炎の最新知見 - 体軸性脊椎関節炎を中心に - 富田 哲也 (大阪大学運動器バイオマテリアル学)	N SS	6, 7	014		
特別講演 2 (第1会場)	11:20 ~ 12:20	関節リウマチ病巣への単核球集積機序 - ナース様細胞 について 越智 隆弘 (大阪警察病院)	N R	1, 6	015		
ランチョンセミナー 6 (第2会場)	12:30 ~ 13:30	難治性慢性痛患者の多面的評価と治療 ~整形外科医の立場から~ 鉄永 倫子 (岡山大学病院整形外科・ 運動器疼痛性疾患治療研究センター) ~精神科医の立場から~ 井上 真一郎 (岡山大学病院精神科神経科)	N SS	1	016		
ランチョンセミナー 7 (第3会場)		整形外科からみた関節リウマチ治療 ~ local から total まで~ 望月 猛 (鎌ヶ谷総合病院整形外科)	N R	6, 13	017		
ランチョンセミナー 8 (第4会場)		変形性膝関節症に対する保存療法 - HA 関節内投 与療法の意義 - 出家 正隆 (愛知医科大学整形外科)	N R	12, 13	018	○	
ランチョンセミナー 9 (第5会場)		骨粗鬆症と変形性関節症の病態連関からみた同時治療 のロジックとエビデンス - 保存療法から術後成績向上 を目指した治療まで - 斎藤 充 (東京慈恵会医科大学整形外科学講座)	N R	1, 4	019		
招待講演 2 (第1会場)	14:10 ~ 15:10	The Pathology of Osteoarthritis - A Multifactorial Condition with a Biomechanical Basis Donald M. Salter (University of Edinburgh, UK)	N R	1, 12	020		
教育研修講演 4 (第2会場)	15:50 ~ 16:50	医療安全管理~備えあれば憂いなし~ 南須原 康行 (北海道大学病院医療安全管理部)	N	14-1	021		

※日整会の単位種別・必須分野について

【専門医取得単位】 N: 専門医単位 S: スポーツ単位 R: リウマチ単位 SS: 脊椎脊髄病単位 Re: 運動器リハビリテーション単位

【必須 14 分野】

[1] 整形外科基礎科学 [2] 外傷性疾患 (スポーツ障害を含む) [3] 小児整形外科疾患 (先天異常, 骨系統疾患を含む, ただし外傷を除く)
[4] 代謝性骨疾患 (骨粗鬆症を含む) [5] 骨・軟部腫瘍 [6] リウマチ性疾患, 感染症 [7] 脊椎・脊髄疾患 [8] 神経・筋疾患 (末梢神経麻痺を含む) [9] 肩甲帯・肩・肘関節疾患 [10] 手関節・手疾患 (外傷を含む) [11] 骨盤・股関節疾患 [12] 膝・足関節・足疾患 [13] リハビリテーション (理学療法, 義肢装具を含む) [14-1] 医療安全 [14-2] 感染対策 [14-3] 医療倫理 [14-4] 保険医療講習会, 臨床研究 / 臨床試験講習会, 医療事故検討会, 医療法制講習会, 医療経済 (保険医療を含む) に関する講習会, 地域医療 / 医療福祉制度に関する講習会, 専門医としての人間性並びに社会性向上に資する講習会 (医師患者間のコミュニケーションに関する講演や専門領域以外の科学的もしくは文化的な講演などを含む) など [14-5] 医学全般にわたる講演会などで, 14-1 ~ 14-4 に当てはまらないもの